



道明寺産

當世浄伽曾我

三之巻目録

幼訓深にゆり花二夜の嫁入



明治三六年
九月十一日
購

第二 大和より恋風を身は拂ひ別れの光

付、
嫁のけがらざる姑れふとて親。
歌の聲もそりてうのゆゑ嫁ひ。
ふと思ふよ衣言ふよとあめ手習友古

付、
子持と村こむ一軒のねんころ。
病いと字て新肉へ計り思ひ。
業よりまかりぬえぬ女房のんきひ

門へ速
號 669
巻 3

青葉堂
印

第三 樂座に煙流の端がり響り 舞の芝居

附 相子とのりや引いてゆく龍戸。
娘が智恵で追分の食休の心もね

第四 水よの洞のぬ守まはれ母の怒り

付 力の我と折人夢まゝ其強の美男。
そのまにわけやの二階社下よの
おまね可き鹿のまゝぬ男海軍

第一

初瀬のゆり花二方の嫁入

付 家のけせこのが娘はあすぶか

一切の女の性へかまへくまへたるゆへに世は婿と姑の中はまゝに掃かた
が。伊東の祐親が妻八回をくらして婿ようそく人列に方よひある性
おまはは津のさぶら女房あひのびじりごとくおまはり祐春つとまて
妻あしあすゆへにむしてとてらむむむの果あつてさう我々の家を
たじごもにやしておくらがとちけり事れはくゆへに幸あたいのこみて
日は中より縁ごと祐春ういんぬらくわきまよきさほくゆへに姑よまね
ごと。うべがさうがくしてわいらるもを肉の重双れごとくあつたね
現むの縁あれごとみもさかきもいにおまはるこくおまのま
なまの方つとまておまはるもを肉の重双れごとくあつたね
人よてまのけりあつておまはるもを肉の重双れごとくあつたね



せうていへ酒場のわらわしとふ満つみの徳利わけて梅うめと花はな振ふふ
 別わかれよかどりちわなれし花はなと梅うめの節ふしも却かえらざるを信まびよ今
 さらし懸かさせせいの道みちおされん治ち定ぢやうしとく師しの坊ぼくめよとじとを
 俗ぞくとらとねが身みなれどいかにわらわし身みおよろらぬ可べし寺てらさあひ
 て毎日まいにちおん候まうよわさびかぞは本ほん房ぶどう友ともの家いへ後ご手て海うみを舟ふねか疎そと娘むすめ万
 寿よろ作しやうとつらつらかみか娘むすめなりか母はは屋や系けい越こ友とも河かりて新あたら全ぜんと万
 寿よろあ文ぶんの慶えい殿てんとて法はう系けいの舞まいさすいへ慶えい美みよ母ははうのそとに教
 免めんわりし信まびのたぢ又またい内うち代しろのたぢにのれ内うちとて七日なながら万まん寿じゆ一世せ一
 代だいの物ものを舞まいとらとめかふ初はつ日にちとて湯ゆ舎しゃ中ちゆうのま娘むすめ男おとこ女むすめ奉ほうる中
 斜なかすずとらとめかふ初はつ日にちとて湯ゆ舎しゃ中ちゆうのま娘むすめ男おとこ女むすめ奉ほうる中
 か布ふ施せ派はい成じやうのけかれよ替かて芝しば居いよ入いりてとれだの男おとこ様さまおち
 乃な方かたい中ちゆうとらとめかふ初はつ日にちとて湯ゆ舎しゃ中ちゆうのま娘むすめ男おとこ女むすめ奉ほうる中
 乃な方かたい中ちゆうとらとめかふ初はつ日にちとて湯ゆ舎しゃ中ちゆうのま娘むすめ男おとこ女むすめ奉ほうる中



盆のつちひらきさみぐらふらせ。わらさうあつて大長よあよとて
ゆりんと先禿よ仕立万事と見あつてけりよ。び里よ久しく勤て
粹といふをまよりの中しくこぼし一筋の道に同づくのよあぢぢと
さうとらとてやの新禿よまでかろう孫よあつものさあてうとらな
強よ人のさざらさかせとて。身つはれどうと。身はま里よまづちた親
の若とてわけくる事。柱さかしてをわすれあぶ一

【才四】

水と一洞のぬちつる母れねい

付タリ カよハ秋とてお人参さめれつる男

依中よ有依津美の神よ。大友内とつらものい。ん年季家の持持を
を身兼係よと一カと合一科よらて。而れと兼没収せられ。流浪の
身二かりける。頃年結縁とたつて。流りかき由とて。身かしる。出
の子あがれゆへ。お赦免とがら。刺中ねとて。けりさう。けり。ひん

よ結縁のぬちと悦び。總念よ運致して。子あよ婿をついで。今日
若身おと依津美の文車巻の長ぐり。とて。新艘の口とさ。せはし
て。おぢ。い。よ。と。せ。ま。せ。ん。と。あ。や。り。備。し。結。縁。が。お。お。大。房。丸。と。ま。ま。
あ。い。依。津。美。へ。わ。け。け。り。よ。よ。月。は。お。入。の。較。え。手。と。ん。が。け。て。病。る。か。
号。の。男。侍。を。雷。電。を。ち。の。端。巻。の。丹。塗。つ。て。て。文。里。と。て。い。ま。ま。と。ら。
口。利。の。お。ち。よ。の。と。お。人。を。較。よ。つ。て。む。れ。門。り。う。か。り。わ。ら。う。え。依。
津。美。へ。め。め。さ。け。夫。車。巻。へ。か。り。と。あ。ぶ。と。い。ま。あ。の。長。下。袴。を。か。じ。ひ。は
あ。お。先。か。解。束。へ。と。ま。し。ら。ま。づ。の。り。か。海。二。三。返。と。り。て。ぬ。あ。
と。ね。の。文。人。の。内。より。ち。者。何。ぞ。う。ふ。ち。葛。原。を。深。草。と。し。ま。ま。う。
禿。は。お。つ。と。水。と。今。日。より。さ。び。に。ま。更。裁。ふ。し。て。姉。女。命。深。草。の。若。よ
よ。せ。て。か。ね。と。ゆ。ら。た。ち。遊。付。か。か。と。一。家。の。ち。更。天。神。の。女。命。に。か。お。て
新。艘。を。と。持。下。よ。か。ね。が。ぬ。あ。や。ま。ま。と。づ。む。わ。い。さ。の。う。も。づ。づ。低。よ



三巻 八世 曾根

三巻 八世 曾根

あまの
おの
おの
おの

あまの

あまの
おの

あまの

あまの

あまの
おの

あまの
おの

